

NO	上段：講座テーマ 中段：狙い 下段：講師氏名及び役職等
1	<p><b>身近に暮らす移民難民 アフガニスタン在留外国人の実像</b></p> <p>タリバンによる迫害、彼ら受入れと定住、社会統合の道のり、小川氏は難民ケア、相互理解に尽力中。</p> <p>小川 玲子 (千葉大学社会科学研究院 教授 グローバル関係融合研究センター副センター長)</p>
2	<p><b>高市一強 一激動の日本政治</b></p> <p>多党化、政治の流動化の矢先、「高市一強」体制へ移行、政治風土を一変する時代へ</p> <p>高橋 正光 (時事通信社 解説委員長)</p>
3	<p><b>AIガバナンスと社会システム</b></p> <p>AI技術進歩は社会の利便性を高めるが人間の存在価値を越え社会の主導権侵害も、健全なAI社会構築を。</p> <p>市川 類 (一橋大学イノベーション研究センター 特任教授)</p>
4	<p><b>世界ですすむ権威主義化 「自由・民主主義」の侵食</b></p> <p>世界の民主主義が後退。社会不平等・格差拡大・右傾化・ポピュリズム・SNS発信・中間層減が根底に。</p> <p>横大道 聡 (慶応義塾大学大学院法務研究科 教授)</p>
5	<p><b>中国とインドの今後 日本はどう対峙すべきか</b></p> <p>中国経済はまだら模様、依存度高いが威圧も多い、インド潜在力に期待大だが人口爆発でも消費水準は</p> <p>西濱 徹 (第一生命経済研究所 首席エコノミスト )</p>
6	<p><b>外国人と共生の時代</b></p> <p>70年代外国人が人口10%の多国籍社会到来、政府の外国人政策や社会統合・教育や定住等の共生策も。</p> <p>明石 純一 (筑波大学 人文社会系 教授)</p>
7	<p><b>経済構造改革が日本の成長力を復元させる</b></p> <p>GDPギャップ引き続きマイナス、実効性ある市場改革、労働市場流動化対策、大幅規制緩和に着手を。</p> <p>福田 慎一 (東京大学大学院経済学研究科 教授)</p>
8	<p><b>エンタテインメントを科学する</b></p> <p>エンタメは心の復興、感動・共感・希望・夢と喜びの源泉、祭は生活や政治と結ぶ、科学的なメスを。</p> <p>湯山 茂徳 (合同会社EMI PE 工学博士 元京都大学経営管理大学院 特命教授)</p>
9	<p><b>朝鮮半島情勢 北朝鮮の出方は？ 日本の対応は？</b></p> <p>半島情勢不安定化は即日本の国情緊張へ、韓国新政権はどう対処か、北の軍事的エスカレーションか。</p> <p>道下 徳成 (政策研究大学院大学 副学長 教授)</p>
10	<p><b>中国経済、その変革と進路</b></p> <p>習政権は強権で4期目を視野に高所得国を目指す米中貿易摩擦・不動産不況・成熟社会構築に多難。</p> <p>苑 志佳 (立正大学経済学部 教授)</p>
11	<p><b>中東と安全保障の今 ～ガザ以降の世界と日本の選択</b></p> <p>中東ガザは国際秩序の大転換点、エネルギーと安保政策を軸に覇権競争続く、日本の選択を巡る契機に</p> <p>高橋 和夫 (放送大学 名誉教授 先端技術安全保障研究所 会長)</p>
12	<p><b>最近のフィリピン情勢 新たな日比関係</b></p> <p>マルコス政権好スタート、経済雇用の舵取りは、日米比の積極連携、日本は準同盟で国交正常化70年</p> <p>鈴木 有理佳 (IDE/ JRTR Oアジア経済研究所開発研究センター 主任調査研究員)</p>

13	<b>アフリカ支援と「確りビジネス」～支援しながら稼ぐ戦略～</b>
	TICAD支援策ではない。自らビジネスを興し現地雇用を醸成、支援には運営経験の積み上げと持続力。 <b>銅冶 勇人</b> (NPO法人CLOUDY代表、(株)DOYA代表取締役社長)
14	<b>原子力エネルギーの転換点、新ビジョンを示せ</b>
	エネルギー政策は再エネと共に原発の最大活用20%に転ず、脱炭素・電力需要増・安全性投資が課題。 <b>岡本 孝司</b> (東京大学大学院工学系研究科 教授)
15	<b>『フェイクニュースを哲学する』を手掛かりに ～何を信じるべきかを考える～</b>
	著書起点に真理を追究する知的な徳や認識構造を見つめ直す。ネット社会の情報下で信ずべきものは。 <b>山田 圭一</b> (千葉大学人文科学研究院 教授 哲学者)
16	<b>「日本的文化」を江戸文化の隆盛にみる</b>
	「べらぼう」蔦重の世界、江戸後期/化政文化で歌舞伎・落語・浮世絵・出版・外食文化等が花開くが。 <b>横山 百合子</b> (国立歴史民俗博物館 名誉教授)
17	<b>不自由な国際通商・国際協調の時代 まず命脈を保て</b>
	トランプ高関税が世界経済に大ダメージ。経済力ある多国間枠組作り、CPTPP拡充や対米直接投資を。 <b>今村 卓</b> (株)丸紅経済研究所 代表取締役社長)
18	<b>人生100年時代 資産運用リテラシーを高めよう</b>
	預金から投資へ、お金の大切さを再考し高齢化社会を生き抜くリスク分散運用・資産設計の能力UP。 <b>林 優作</b> (株)ジャパンアセットマネジメント JAM Academy 塾長
19	<b>ネイチャーポジティブ(自然再興)でめざす持続可能な社会</b>
	COP15のテーマ・自然再興で生物多様性を回復軌道へ、人類存続の基盤確保、佐倉里山谷津の好環境を <b>原 慶太郎</b> (東京情報大学 名誉教授)
20	<b>儒教・朱子学における「楽」の系譜、中国音楽思想と「詩吟」</b>
	中国楽律論の研究、儒教思想と科学体系の中に音楽芸術を位置付け、漢詩に節を付けた詩吟を吟ずる。 <b>田中 有紀</b> (東京大学東洋文化研究所 准教授)
22	<b>SNS時代のメディアビジネスはどこへ向かうのか</b>
	SNS台頭は画期的で利用価値が高い、オールドメディアは防戦、SNS活用に我々が心がけるべき事は。 <b>佐々木 俊尚</b> (文筆家 情報キュレーター 元毎日新聞記者)